



東証1部 [8703]

カブドットコム証券

わたしたちはMUFGです。 

すべてはお客様の利益のために

2013年度 下期 品質管理システム活動報告書



2014年5月29日

カブドットコム証券株式会社

ISO9001:2008 FS609639
ISO27001:2005 IS609638
ISO22301:2012 139183-2013-ABCM-JPN-UKAS

I. 品質管理システム(QMS)活動の仕組み

- (1) コーポレート・ガバナンス(企業統治)及び内部統制に関する基本的な考え方
- (2) お客様満足度向上のための品質管理システム活動
- (3) コンプライアンス重視
- (4) 社員教育による社員の質の向上と、お客様サービスの向上について

II. お客様のご意見・ご要望をサービス改善につなげる仕組み

III. お客様のご意見・ご要望を基にした改善とご報告(開示)

- (1) ISO10002(苦情対応マネジメントシステム)とは
- (2) 苦情への対応について
- (3) お問い合わせとご要望・賛辞について
- (4) サービスの改善について
- (5) 安全なお取引をしていただくために—システムリポート
- (6) 安全なお取引をしていただくために—売買審査状況
- (7) ご意見・ご要望を基にしたサービス改善
- (8) 口座開設申込状況について

I. 品質管理システム(QMS)活動の仕組み

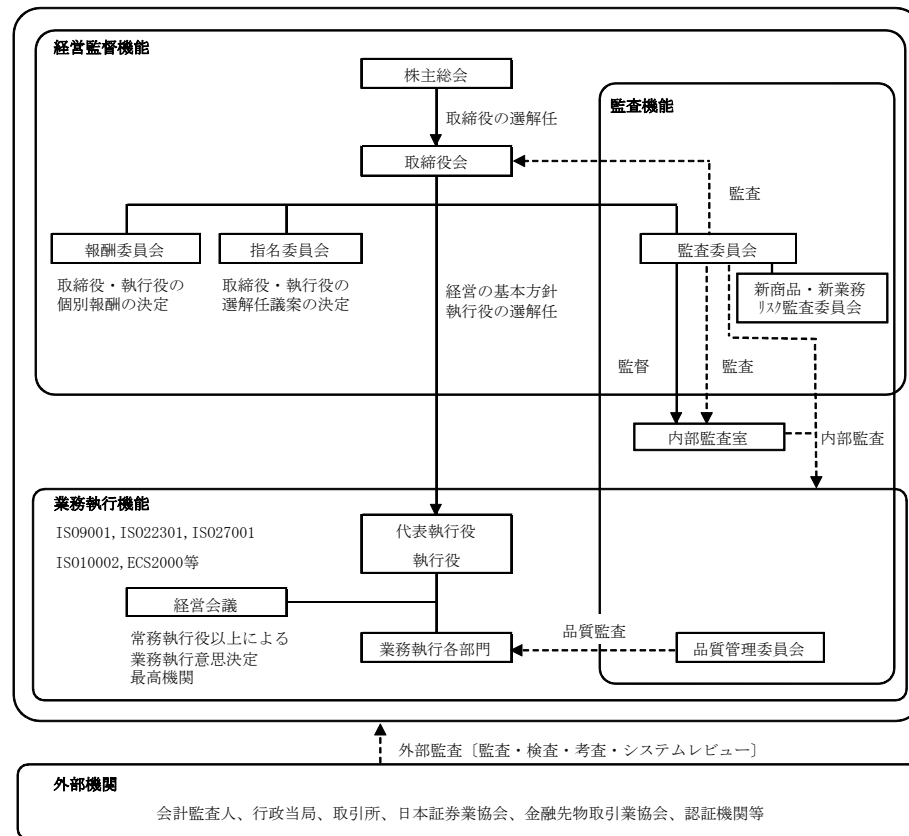


(1) コーポレート・ガバナンス(企業統治)及び内部統制に関する基本的な考え方

当社コーポレート・ガバナンス概要

- 当社のコーポレート・ガバナンスは、株主の皆様を中心とする利害関係者各位の利益極大化を目指し、意思決定及び業務執行に関し、妥当性(効率性)、適法性、会計等開示内容の適正性についてPDCAサイクルを行う仕組みを確立するための組織体制であると考え、下記を有機的に組み合わせていることが大きな特徴となっております。

- 委員会設置会社での「取締役の経営監督機能と執行役の業務執行機能の分離」による役割の明確化、意思決定の迅速化、経営の透明性・効率化の向上の実現
- 業務執行部門において、国際規格であるISO9001(品質管理)、ISO27001(情報セキュリティ)、ISO22301(事業継続)に準拠した厳格なPDCAサイクルをベースとした内部統制・リスク管理の実現
- ECS2000v1.2(倫理法令遵守)、並びにISO10002(苦情処理)のフレームワークを採用し、内部管理高度化の取り組み



- 品質管理委員会は業務執行部門における品質管理を支える重要な機関であり、代表執行役社長を委員長とし、以下を主な活動としております。
 - 業務執行全般の適法性及び適正性などコンプライアンス面での管理・監督・監査等の検証
 - お客様への取引等のサービスに関し、その要求事項を満たすべく適切な経営管理が実施されているかの検証
 - お客様の満足度の検証、及びそのフィードバック

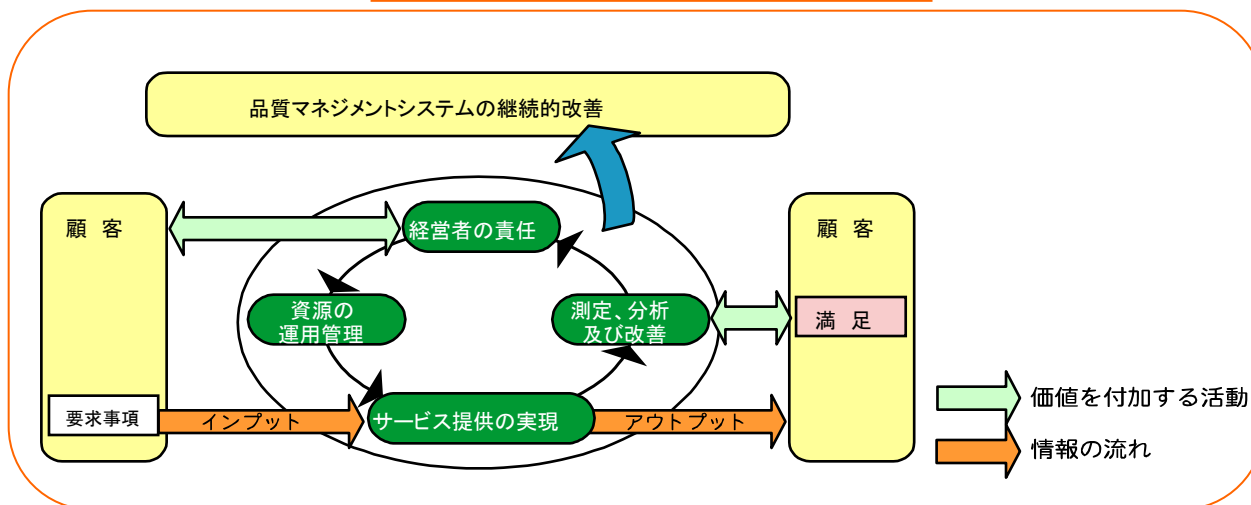
I. 品質管理システム(QMS)活動の仕組み



(2) お客様満足度向上のための品質管理システム活動

- より多くのお客様が有価証券市場を活用できるよう、革新的でお客様満足度ナンバーワンのサービスを提供することを、創業以来目指しております。
- お客様満足度向上のために、お客様の要望、苦情を的確に把握分析し、速やかに各種サービスに反映すること、また金融インフラ業という公共性の高さを鑑み、コンプライアンス、プライバシー保護、高度な情報セキュリティなどの管理体制を構築することが重要と考えております。
- 戦略上の決定に品質マネジメントシステムを導入し、品質方針を定め、継続的改善を行っております。
- 当社のお客様である一般投資家との相互関係、並びにトップマネジメントや各機能(部門)責任者の責任・権限・役割を明確に定め、品質マネジメントのPDCAを有効的に機能させるとともに、国際規格に準拠し、各サービス・プロセスにおいて管理指標を設け、管理を徹底しております。

品質管理システムのフレームワーク



PDCAサイクル

当社では、独自性が高くスピーディかつ有効な業務執行と、国際規格に準拠した厳格なPDCAサイクルをベースとした品質目標を掲げ、記録管理と不備改善プロセスの強化・徹底を図り、社内態勢を整備しています。

PDCA

- ・Plan(計画)
- ・Do(実施)
- ・Check(評価)
- ・Act(是正)

(3)コンプライアンス重視

◆法令遵守の姿勢を明確に示すため、金融業界で初めてECS2000を導入・実践◆

- 品質管理委員会では、コンプライアンス重視の観点から以下の活動を実施しております：

- 全社月次レポートによる状況報告

- ・ 証券検査基本方針及び証券検査基本計画における検査状況
- ・ クレーム件数・内容
- ・ あっせん・訴訟等
- ・ 売買審査状況
- ・ 業界処分等

- 社内コンプライアンス・プログラムによる定期業務検査の実施

- 各部・室活動について月次レポートによる品質管理委員会への報告・情報共有
- 日本証券業協会等への通知・対応関係

ECS2000 ver1.2とは

ECS2000とは、麗澤大学経済研究センターが1999年に発表した「倫理・法令遵守マネジメント・システム規格」です。ISO9001やISO14001と同様にPDCAマネジメントサイクル(Plan-Do-Check-Act)による継続的改善を基本としています。

- コンプライアンスの報告については、経営方針にも掲げておりますように、上述した報告内容に加え、客観的に評価できる指標を作成し、国際基準に沿ったPDCAサイクルのもと、業務改善に努めております。

企業行動憲章

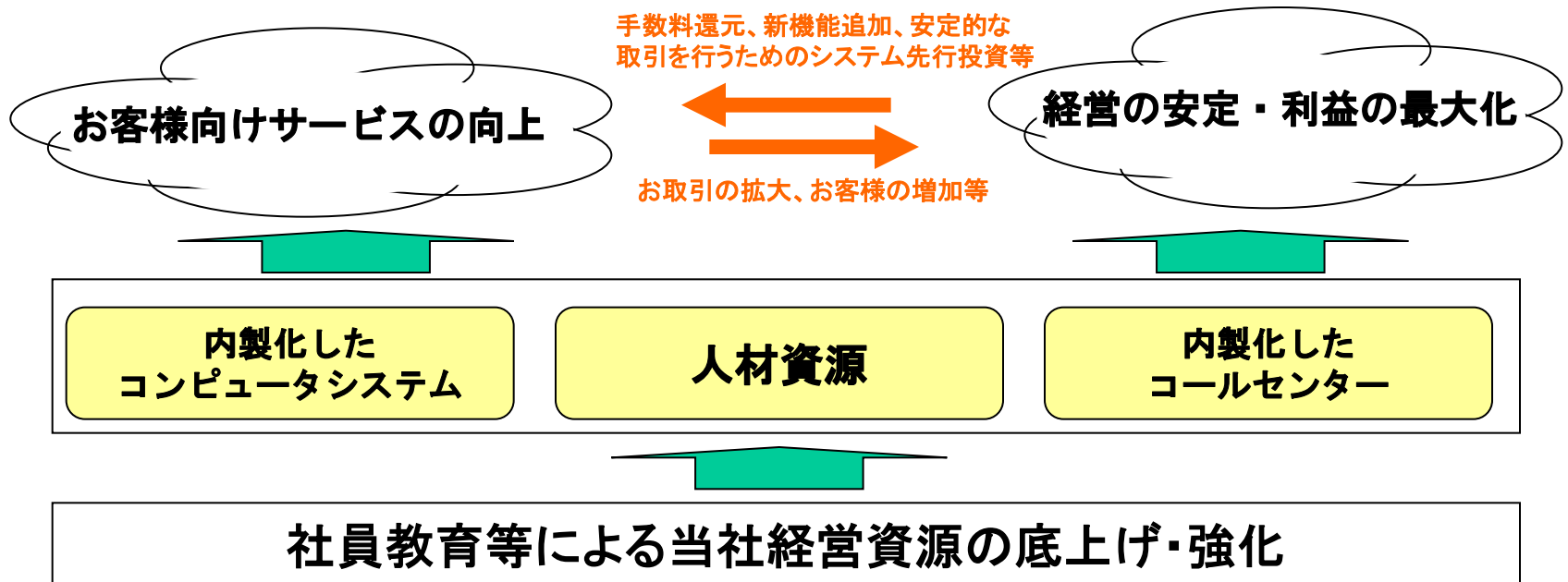
カブドットコム証券株式会社は、法令遵守はもとよりフェアプレーで企業行動を実践し社会的使命の達成に努め、社会に貢献する企業・社会の信頼を得られる企業を目指します。

I. 品質管理システム(QMS)活動の仕組み

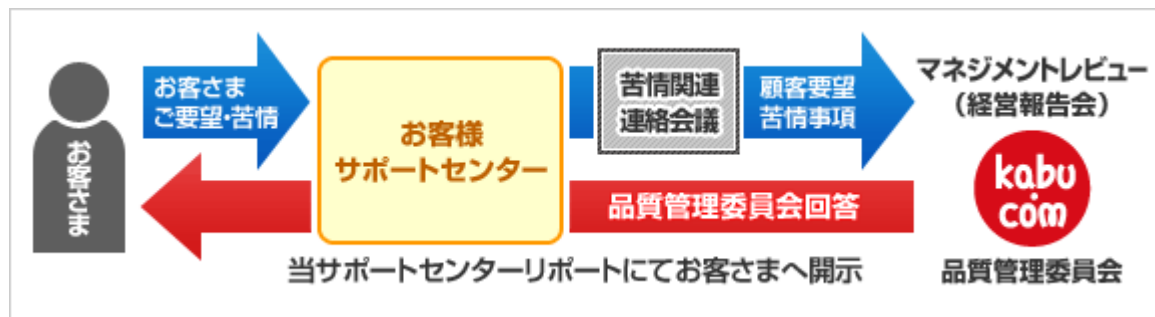


(4) 社員教育による社員の質の向上と、お客様サービスの向上について

- 徹底的な社員教育、客観的な評価モデルの導入により、高いモチベーションのもと人材資源の効果を極大化する経営を推進しております。
- 主な経営資源である、「内製化したコンピュータ・システム」、「内製化したコールセンター」、及び「人材」の質を向上させることで、お客様へのサービス向上に繋げてまいります。
- 主な教育プログラム
 - ・ 新入社員教育、コンプライアンス研修、OJTを中心とした内部研修
 - ・ 年2回の外部講師などを招いた集合研修、外部研修の受講等のスキルアップ研修等
 - ・ 証券・金融先物取引外務員資格、情報処理技術者資格などITスキル、証券アナリスト、FP、英語等の資格取得の推進
 - ・ 社内電話対応コンクール実施、NTTユーザー協会/電話対応コンクールへの選抜参加等
 - ・ 内部監査員養成のための研修等



Ⅱ. お客様のご意見・ご要望をサービス改善につなげる仕組み



ISO10002
苦情対応マネジメントシステム

- お客様からのご要望・苦情等のお声をより適切に当社の経営に反映すべく、ISO10002(苦情対応マネジメントシステム)を導入しております。これにより、経営への報告・お客様への開示が改善されると共に、新サービスの実現・既存サービスの改善に関しても、より適切な対応ができる体制となっております。
- お客様からいただきましたご要望・苦情・賛辞等は、各部門に配置の苦情対応責任者が中心となり改善に取り組みます。取り組み状況はコンプライアンス担当部門による検証を経て、品質管理委員長をはじめとするトップマネジメントが出席する「苦情関連連絡会議」への報告が実施されております。
- 「苦情関連連絡会議」の内容は、対応すべき課題を明確にしたうえで、進捗管理は毎月開催する「品質管理委員会のマネジメントレビュー」を通じて全部門の責任者が共有しております。直接お客様のお声を把握することにより、お客様が感じてられる問題に迅速に対応するとともに、より良いサービスの実現に向けて、継続的な改善に努めてまいります。
- サービス改善事項等につきましては、毎月「サポートセンターレポート(<http://kabu.com/support/report.asp>)」や「システムレポート(<http://kabu.com/feature/system/report.asp>)」でお客様に開示しております。
- お客様のご要望を的確に捉え、お客様にご満足いただく対応ができますよう、サポートセンターメンバーは日々研鑽を重ねてまいります。

HDI(ヘルプデスク協会)主催「問合せ窓口格付け」で三つ星を獲得
HDI-Japan(ヘルプデスク協会)による2013年11月の証券業界の調査により、「問合せ窓口格付け」部門で最高評価である三つ星を獲得いたしました。
「問合せ窓口格付け」部門での三つ星獲得は3度目です。

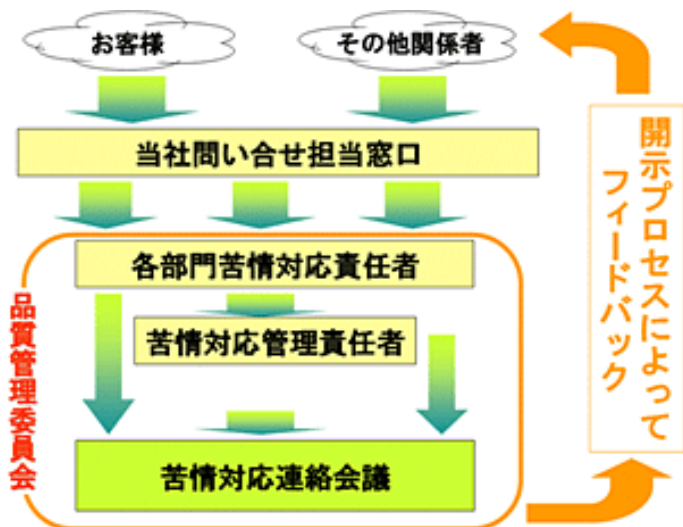


Ⅲ. お客様のご意見・ご要望を基にした改善とご報告(開示)



(1) ISO10002(苦情対応マネジメントシステム)とは

- 「お客様の声に迅速に対応する」ため、ISO9001(品質管理システム)活動の一環として、2007年度下期にISO10002(苦情対応処理マネジメント)の行動指針を社内で周知・徹底し、試験運用後、第三者による監査と意見書を得た上で、2008年5月7日に「自己適合宣言書」を発行し開示して以来、この指針に沿った運営を行っております。
- 「サポートセンターレポート」の開示内容を改善することでその充実を図っております。



◆自己適合宣言書

- 1) 発行者 : カブドットコム証券株式会社
- 2) 宣言の対象: 金融商品オンライン取引サービス提供における苦情対応プロセス
- 3) 上記宣言の対象は、次の文書の要求事項に適合している。
規格番号 ISO10002:2004 (JIS Q 10002:2005)
表題 ISO10002:2004 (JIS Q 10002:2005)
規格番号 Quality management - Customer satisfaction - Guidelines for Complaints handling in organizations
(品質マネジメント - 顧客満足 - 組織における苦情対応のための指針)
- 4) 発行日 : 2008年5月7日(水)
- 5) 追加情報 :
適合性評価機関 株式会社日本能率協会コンサルティング
住所 〒105-8534 東京都港区虎ノ門4-3-1城山トラストタワー35階
適合性評価報告書 苦情プロセスの適合性に関する第三者意見書(2008年4月15日)
カブドットコム証券株式会社
代表執行役社長 齋藤 正勝
- 6) 制限事項 : 適合宣言の有効性に関する制限事項はなし

※この文書はJIS Q 17050-1に基づき作成された自己適合宣言書である。

Ⅲ. お客様のご意見・ご要望を基にした改善とご報告(開示)

(2) 苦情への対応について

お客様からのご要望・苦情に対し、より適切に当社の経営に反映すべく、ISO10002(苦情対応マネジメントシステム)に基づき、商品別や内容別に分類、指数化して、経営への報告とお客様への開示を行っております。

(例) 2014年3月のご要望への回答



- 25% : kabuステーション®を改善してほしい。
- 13% : 資産管理や入出金画面を改善して資産を見やすくしてほしい。
- 9% : 騰落レシオに対応してほしい。
- 8% : 「自動通知サービス」の電話サービスを復活してほしい。
- 7% : 保証金シミュレーターを改善し、分割・併合にも対応してほしい。
- 5% : FXの発注の際、常に現在何通貨が発注可能の上限なのか表示してほしい。
- 5% : サポートセンターの電話番号をもっとわかりやすく記載してほしい。
- 5% : 証拠金→保証金の振替を直接できるようにしてほしい。
- 4% : 貸株サービスで優待の有無にかかわらず自動返却サービスに対応してほしい。
- 4% : 一部出来でも取引履歴が分かれず一括表示できるようにしてほしい。
- 3% : 限月を間違えて発注しないように先物の新規建玉画面をわかりやすく改善してほしい。
- 3% : 対応タブレット一覧を表示してほしい。
- 3% : IVRで約定照会等の途中でメインメニューに戻れるよう改善してほしい。
- 2% : 同日の決済損と現物売却の場合、現物売却も約定後必要入金額に反映させてほしい。
- 2% : 投資信託個別銘柄の組入れ比率をわかりやすく明記してほしい。
- 2% : その他

(例) 2014年3月のお客さまからの苦情への回答



- 52% : kabuステーション®
- 10% : 先物・OP取引
- 9% : 資産管理
- 6% : 信用取引
- 4% : 自動通知
- 3% : 投資情報
- 3% : 事務手続き
- 3% : CS
- 2% : FX
- 1% : 入出金
- 1% : 取引ルール
- 1% : 現物株式
- 1% : 投信
- 1% : 貸株
- 1% : Uチャート
- 3% : その他

Ⅲ. お客様のご意見・ご要望を基にした改善とご報告(開示)



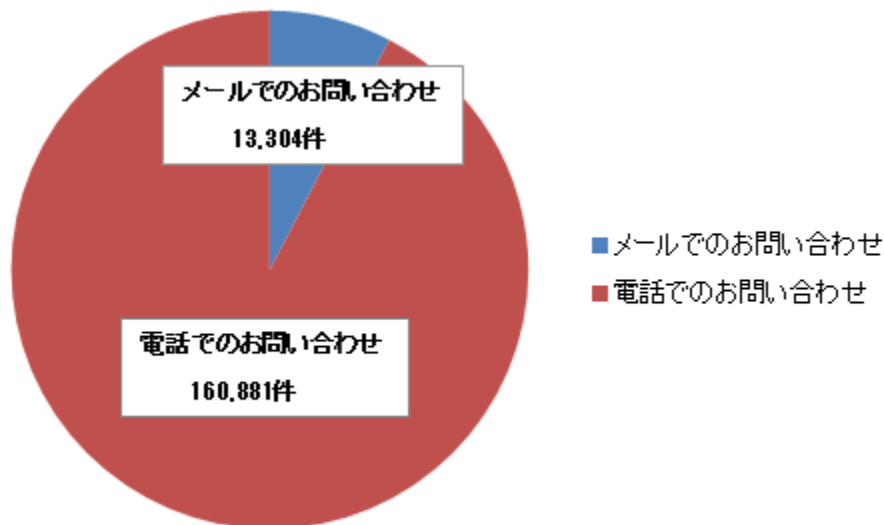
(3) お問い合わせとご要望・賛辞について

- お問い合わせ件数は17.4万件、内電話16.1万、メール1.3万件でした。
内容は一般的なお問合せがほとんどですが、その内935件のご要望、1,968件の苦情をいただきました。
- お問い合わせや当社からお客様へのご連絡の過程で、10,143件の賛辞をいただいております。

■2013年度下期 お問い合わせ件数(174,185件)

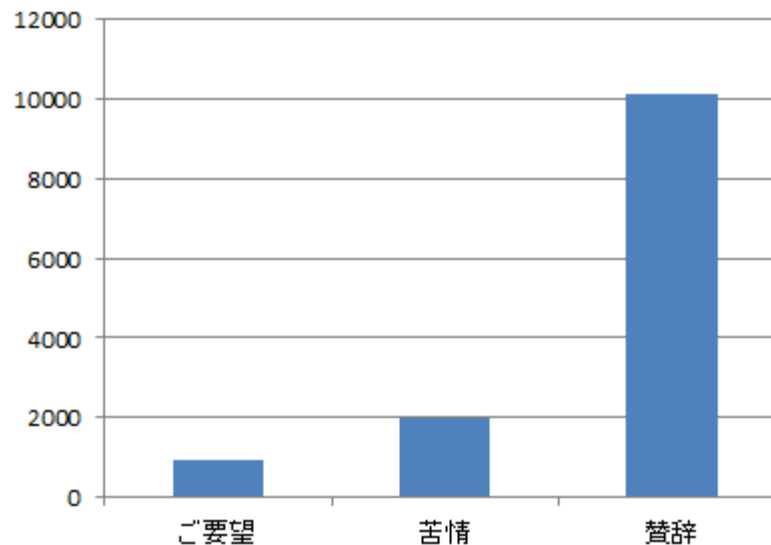
電話でのお問い合わせ 160,881件

メールでのお問い合わせ 13,304件



■2013年度下期 ご要望、苦情、賛辞 件数

ご要望 935件 苦情 1,968件 賛辞 10,143件



Ⅲ. お客様のご意見・ご要望を基にした改善とご報告(開示)



(4) サービスの改善について

お客様サポートセンターを通していただきましたお客様のご意見、ご要望は、「お客様要望事項」として整理し、その後、品質管理委員会において検討し、サービス改善事項として対応いたしております。

▼ご要望にお応えしてサービス改善した事項

JPX日経インデックス400指数を表示して欲しい

カブボードフラッシュやkabuステーションでもJPX日経インデックス400指数をご確認いただけるよう、対応いたしました。

▼ご要望にお応えするべくサービス改善を準備中／検討中の事項

HPを使いやすく改善してほしい。

2014年4月に当社ホームページのトップページ等、主要ページのデザインを変更いたしました。7月ごろを目処に全ページの刷新を予定しています。

スマートフォン版アプリの機能を拡充してほしい

新しいアプリを現在開発中です。年内を目処にリリースする予定です。

(5) 安全なお取引をしていただくためにーシステムリポート

- システム状況を様々な側面から監視し、安定性やパフォーマンス向上等のシステムの改善に努めております。
- 当社ディスクロージャー方針に基づき、システム負荷状況や障害情報、今後の設備増強プラン等を積極的に公開しております。

開 示 内 容

■ システムリポートハイライト

- 新たにリリースした機能やサービス、お客様に広くお知らせすべきニュース等を掲載

■ システム投資関連指標詳細

- 株式1約定あたりシステム費用、システム費用/販管費率等、「効率的なシステム構築・運用」を判断する指標として数値を開示

■ システム性能指標詳細

- システムの処理性能の現状分析を行い、キャパシティプランニングを行う重要なインプット情報として整理しています。注文送信・約定入力に関する指標、ウェブサーバの処理実行実績、および各サーバのパフォーマンスを開示

■ システム増強・機能改善詳細

- システム増強や機能改善の実施履歴および今後の実施予定を開示

■ システム障害・サービス提供状況詳細

- 調査対象期間中に発生したシステム障害・対策状況、およびサービス提供の状況の詳細について説明

■ 運用報告等

- 当社は、システムの構築から運用までをすべて内製化している唯一のオンライン専門証券です。その内製化を差別化要因とし、迅速な開発・運用体制と低コスト体質を実現

今期の主な実績

- Windows 8 および Windows 8.1 アプリのリリースをおこないました。[2013年10月]

- kabuステーション ver4.0 をリリースしました。2WAY注文を導入しています。[2013年10月]

- 信用取引手数料改定に伴うシステム改修を行いました。[2013年11月]

- パフォーマンスの向上を行ったスマートフォンアプリ改修版をリリースしました。[2013年5月]

- kabuステーション ver4.0.3 をリリース、コーポレートアクション(前日比、騰落率)に対応しました。板気配の色味も変更しています。[2013年11月]

- プルダウンメニューが Internet Explorer 11に対応しました。[2013年12月]

- 東京証券取引所の呼値適正化への対応をおこないました。[2014年1月]

- JPX日経インデックス400の配信を開始しました。[2014年1月]

- 先物OPナビゲータが IE10およびIE11に対応しました。[2014年1月]

- kabuステーション 4.1.0をリリースしました。複数注文の一括訂正・取消機能の追加、価格帯別出来高の数値出力、セキュリティ対策の向上が行われています。[2014年2月]

- デリバティブ市場の統合に伴い、発注基盤を刷新、先物・オプション注文の取次ぎ処理平均時間、最速値が約70%改善いたしました。[2014年3月]

- お客様お問い合わせフォームを刷新しました。過去のお問い合わせ履歴の一覧表示が可能となるなど、利便性が向上しています。[2014年3月]

Ⅲ. お客様のご意見・ご要望を基にした改善とご報告(開示)



(6) 安全なお取引をしていただくために一売買審査状況

- 日々のお客様のお取引について、相場操縦・作為的相場形成・内部者取引・仮名借名取引等の違法行為や不公正取引のおそれがないか売買審査を行っております。
- 内部者取引管理につきましては、各金融商品取引所および日本証券業協会と共に監視態勢強化に努めております。
- 注文件数増加に伴い、審査対象件数も増加傾向にあります。

	10月		11月		12月		1月		2月		3月	
	取引所取引		取引所取引		取引所取引		取引所取引		取引所取引		取引所取引	
空売り規制	7,276	(44)	8,616	(3)	7,387	(3)	6,833	(3)	8,462	(6)	7,328	(0)
買上がり・売り崩し	471	(3)	431	(1)	413	(0)	492	(2)	531	(2)	381	(5)
終値関与	8,202	(4)	8,008	(3)	8,847	(3)	8,243	(5)	7,808	(5)	7,536	(4)
仮装・馴合取引	595	(0)	664	(1)	971	(0)	599	(3)	620	(2)	775	(2)
見せ玉	2,217	(2)	2,089	(2)	2,115	(1)	2,000	(2)	1,955	(2)	1,940	(1)
高安値形成	821	(1)	718	(0)	719	(0)	828	(1)	917	(1)	852	(0)
株価固定	1,986	(0)	2,107	(0)	2,369	(0)	1,881	(0)	1,673	(0)	1,756	(0)
市場関与	3,554	(0)	3,385	(0)	3,424	(0)	2,981	(0)	3,204	(0)	3,563	(0)
内部者取引	948	(22)	2,151	(6)	1,028	(7)	852	(11)	2,781	(21)	3,217	(31)
月間計	26,070	(76)	28,169	(16)	27,273	(14)	24,709	(27)	27,951	(39)	27,348	(43)
売買審査 実績グラフ												
注文件数	3,818,465		3,637,071		3,948,462		3,861,911		3,327,264		3,301,320	
審査件数/注文件数	0.683%		0.774%		0.691%		0.640%		0.840%		0.828%	

注) 上表の数値は、当社売買審査基準に基づいて審査を行った件数、()内は、そのうちご注意等をさせていただいた件数です。

■ 空売り規制 ■ 買上がり・売り崩し ■ 終値関与 ■ 仮装・馴合取引 ■ 見せ玉 ■ 高安値形成 ■ 株価固定 ■ 市場関与 ■ 内部者取引



(7) ご意見・ご要望を基にしたサービス改善

- 平成25年12月、主要ネット証券初！免許証自動読取でスマホから最短2分で口座開設申込が可能になりました。
- 平成26年1月、お客さまからのご要望に応え、特定口座年間取引報告書に年間損益計算を同封して発送しました。
- 平成26年1月、年間損益管理と年間支払計算書等がPDF版電子交付で閲覧可能になりました。
- 電子口座開設やBTMU金融商品仲介の即時口座開設でもNISAの同時申込が可能となりました。

(8) 口座開設申込状況について

- お客様の口座開設申込手続き開始から口座開設完了までの不備項目詳細の状況を、平成20年6月から月次でホームページを通じて開示して、お客様に安心して口座開設をお申込みいただけるように品質向上に努めております。
- 平成25年4月より改正された犯罪収益移転防止法に伴う口座開設時および口座開設後の本人確認方法に関する説明をホームページに掲載し必要事項へのご理解とご協力をいただけるよう努めております。

【口座開設実績】

	2013年10月		2013年11月		2013年12月		2014年1月		2014年2月		2014年3月	
申込書受入件数	5,117件		4,361件		4,880件		6,598件		4,846件		4,337件	
不備区分(件数)	返却	確認	返却	確認	返却	確認	返却	確認	返却	確認	返却	確認
本人確認書類不備	0件	394件	0件	364件	0件	366件	0件	385件	0件	249件	0件	266件
印鑑不備	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件
記載不備	0件	274件	0件	224件	0件	234件	0件	346件	0件	194件	0件	180件
その他不備	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件
重複申込	154件	0件	141件	0件	149件	0件	218件	0件	170件	0件	155件	0件
(不備率)	11.60%		11.90%		11.10%		9.60%		8.30%		9.50%	

※不備区分の「返却」とはお客様にて修正が必要な書類不備、「確認」とはお客様への電話連絡等による確認にて解消する書類不備をいいます。

kabu.comは積極的な開示を続けております

○会社情報・IR情報 <http://kabu.com/company/>

○決算・財務情報
http://kabu.com/company/disclosure/accounting_line.asp

○業務情報（委託手数料等の推移）
<http://kabu.com/company/disclosure/comission.asp>

○業務情報（口座数・約定情報等の推移）
<http://kabu.com/company/disclosure/order.asp>

○顧客投資成績
<http://kabu.com/company/disclosure/score.asp>

○コーポレートガバナンス報告書
<http://kabu.com/company/governance.asp>

○システムレポート
<http://kabu.com/feature/system/report.asp>

○サポートセンターレポート
<http://kabu.com/support/report.asp>

○売買審査状況
<http://kabu.com/company/disclosure/mktsurvey/>

○SLA精査状況
<http://kabu.com/company/disclosure/sla.asp>

■お取引にあたってご注意いただきたい事項

各商品等には価格の変動等による損失を生じるおそれがあります。当社ホームページにて取引内容、リスク等の説明内容事項をご覧ください。

※証券投資は、価格変動、金利の変動、為替の変動等により投資元本を割り込む恐れがあります。自動売買を含むすべてのご注文は必ず約定するものではありません。お取引の際は、目論見書、約款・規程集及び契約締結前交付書面等をよくお読みいただき、商品特性やリスク及びお取引ルール等をよくご理解の上、ご自身のご判断で無理のない資産運用を行ってください。

※投資信託の購入は、基準価額の変動により元本を割り込み損失を被ることがあります。ファンドにより販売手数料とは別に、信託報酬・解約手数料・その他手数料等を要するものがありますが、各ファンド別に要件・料率等が異なりますので表示できません。お取引に際しては、目論見書（商品毎）および目論見書補充書面（投資信託）をよくお読みください。

※信用取引・指数先物取引・指数オプション取引・海外指数先物取引は、保証金または証拠金以上のお取引が可能であるため、保証金または証拠金を超える大きな損失を被ることがあります。又、取引期限があり取引期限を越えてのお取引はできません。

※日経平均VIは相場急変時に急上昇する特性があり、日経平均VI先物取引の売方は、その損失が株価指数先物取引と比較して非常に大きくなる恐れがあります。

※くりっく365・OSE-FX・店頭FX・シストレFXは元本や利益を保証するものではなく為替変動リスクや金利変動等のリスクを伴います。取引金額がお客さまが預託しなければならない証拠金の額に比べて大きい額となっており、外国為替相場や各国通貨の金利の変動等によりお客さまに損失が生じるおそれがあります。また、その損失の額は、お客さまが預託されている証拠金の額を上回る可能性があります。本取引において提示する売値と買値の間には差額があります。お取引に際しては、契約締結前交付書面をよくお読みください。手数料：OSE-FX：92円（税抜き/片道約定1枚あたり）店頭FX、シストレFX、くりっく365 無料。証拠金（1万通貨あたり）：くりっく365 東京金融取引所が発表する証拠金基準額をもとに当社が定める額。OSE-FX 大阪取引所が発表する証拠金基準額をもとに当社が定める額。店頭FX コース、通貨ペアにより25,000円～1,000,000円。シストレFX 建玉金額の4%。

※外国債券の価格は、金利水準の変動により上下するため、償還前に売却する場合には、元本損失が生じることがあります。また、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに対する外部評価の変化等により、損失を被ることがあります。外国債券は、為替相場の変動等により、元本損失が生じたり、債券を発行する組織（発行体）が所属する国や地域、取引がおこなわれる通貨を発行している国や地域の政治・経済・社会情勢に大きな影響を受けたりするおそれがあります。外国債券を購入する場合は、委託手数料はかかりませんが、売買における売付け適用為替レートに差額があります。上記、適用為替レートは債券の起債通貨によって異なり、実勢レートに基づき当社が決定します。

※お取引に際しては、契約締結前交付書面をよくお読みいただき、商品特性やお取引ルール等をよくご理解の上、ご自身のご判断で無理のない資産運用を行ってください。

※各商品等へのご投資には、商品毎に所定の手数料等が必要です。詳しくは当社の手数料ご案内ページ（<http://kabu.com/cost>）等をご参照ください。手数料には消費税が含まれています。

※掲載情報の最新情報は当社ホームページ（<http://kabu.com/>）にてご確認ください。

◆ご投資にかかる手数料等およびリスクについてはこちらをご参照ください。 → <http://kabu.com/info/escapeclause.asp>

カブドットコム証券

東証1部 [8703]

わたしたちはMUFGです。 

- ・金融商品取引業者登録：関東財務局長（金商）第61号
- ・銀行代理業許可：関東財務局長（銀代）第8号
- ・加入協会：日本証券業協会・金融先物取引業協会